

デンマーク語専攻開設 50 周年をお祝いして

この度デンマーク語専攻、デンマーク語部会におかれましては、1966 年 4 月の大阪外国語大学外国語学部デンマーク語学科の開設から数えて満 50 年という記念すべき年を、大学院に目を向ければ、1970 年 4 月に専攻科デンマーク語専攻が開設されて 45 年目という節目の年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。また、かくも立派な祝賀会にお招きいただきましたことを光栄に思うとともに感謝申し上げます。

デンマークと言えば、例えば文学者アンデルセンや哲学者キェルケゴールを生んだ国、世界最高水準の福祉国家を実現している国としてなど、様々な学問分野をとおして現代社会に大きな影響を及ぼしてきた先進国であると理解しています。言語運用能力を身につけ、その国の言語、文学、歴史、社会を学び研究する場、いわゆる「語圏研究」を実践する場である外国語学部および大学院言語文化研究科言語社会専攻にとって、デンマーク語ならびにデンマークは、学問の対象をふんだんに提供してくれる魅力溢れる存在であり、デンマーク語専攻・部会は、デンマーク学を修める学生を育成する場、デンマーク学研究の場として重要な役割を担っていると考えます。

デンマーク語開設に際しては、キェルケゴールの研究者として著名な大谷長先生のご尽力と当時のデンマーク文部省の多大な協力があつたことは、すでにご存じのとおりかと思えます。昨今の大学を巡る状況を考えますと、デンマーク語に限らず専攻語・部会のさらなる発展には学内外の理解と協力が不可欠です。本日の記念式典を機に、デンマーク語の「同窓の絆」がいつそう強くなるよう、ご臨席の皆様の温かいご協力を背景にデンマーク語専攻・部会が益々のご発展を遂げられるよう、また、皆様のご健康を維持され、幸多き人生を送られるよう祈念しつつ、甚だ簡単ではございますが、私のご挨拶とさせていただきます。ご清聴有り難うございました。

言語文化研究科筆頭副研究科長・言語社会専攻長
大 内 一